

# テーマ5：森ハブ・プラットフォーム構築 報告書

# 目次

① 実施方針	3
② 森ハブ・プラットフォーム設置	10
③ ニーズ・シーズ調査結果	23
④ キックオフイベント実施報告	34
⑤ シンポジウム実施報告	44

# ①実施方針

# 森ハブで提供する支援機能にかかる検討は令和3年度より取組んでおり、今年度はこれまでの検討結果をふまえた現場実装に取り組めました

## 過年度の検討の流れ

### 令和3年度 エコシステム形成にかかる 事例分析



- 海外や異分野の先進事例を調査・検討し、日本の林業分野におけるエコシステムの形成方法について検討を行った
- エコシステムに必要な4要素と各地のエコシステムの形成ステップを検証し、エコシステムの中核となるコミュニティ機能の構築やコーディネーターの重要性を提言した

### 令和4年度 森ハブにて組成する エコシステムの検討



- 令和3年度の検討結果をふまえ、どのようにコミュニティ機能を構築するか検討を行った
- 日本各地の先進事例やスマート林業構築普及展開事業の推進地域等へのヒアリングを行い、地域の実態やどのような事業、支援の在り方が適切か検討した
- 検討結果をふまえ、森ハブ支援地域とマッチングさせるコーディネーター案を導出した

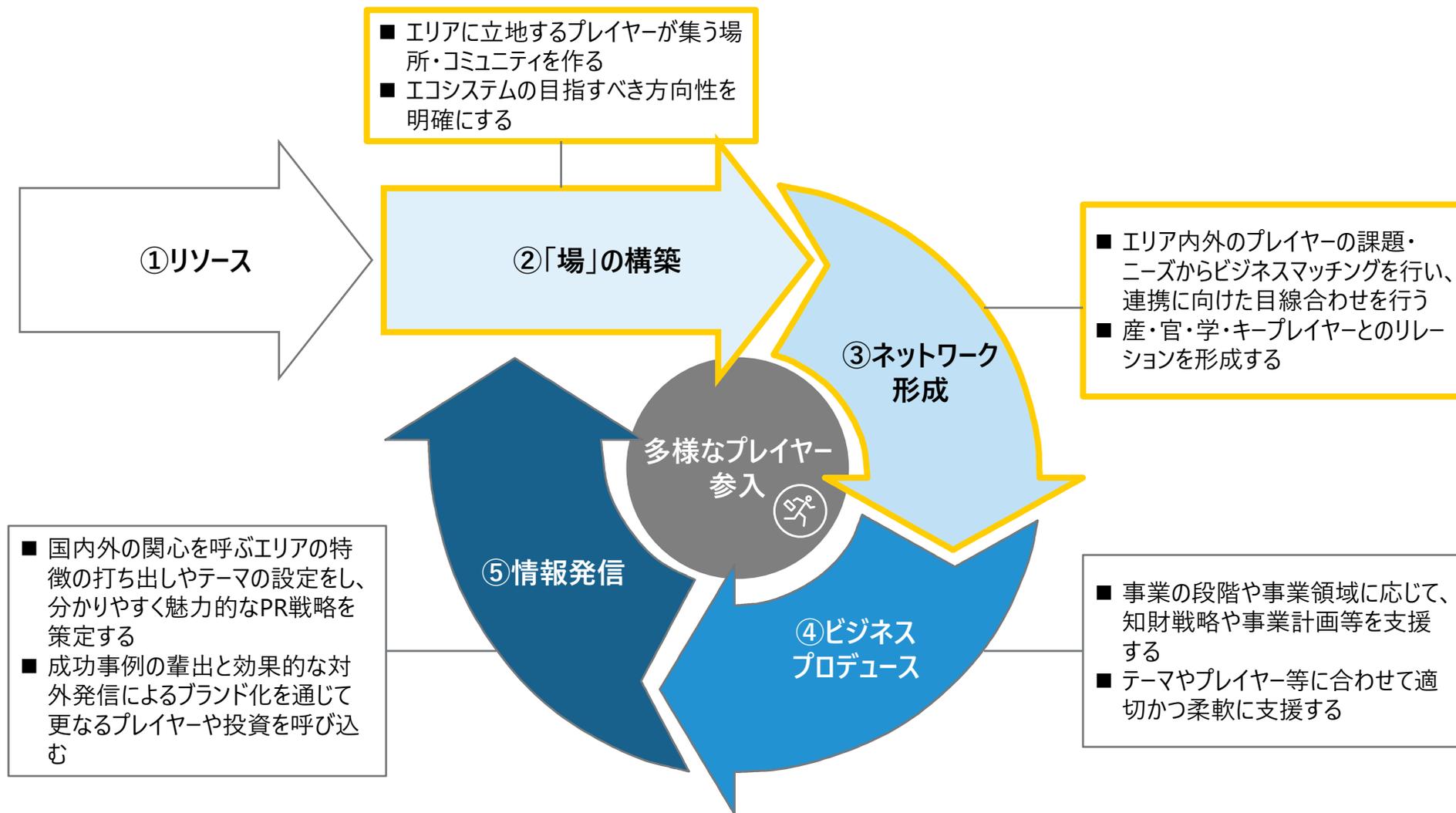
### 令和5年度 エコシステムの核となる プラットフォームの組成



- 過年度の活動をふまえ、プラットフォームの構築と参加者のニーズ把握にかかる取組を行う
- また森ハブによる支援実績を創出するため、先行して導出した支援地域やデジタル林業戦略拠点選定地域と連携し、コーディネーターによる事業支援を行う

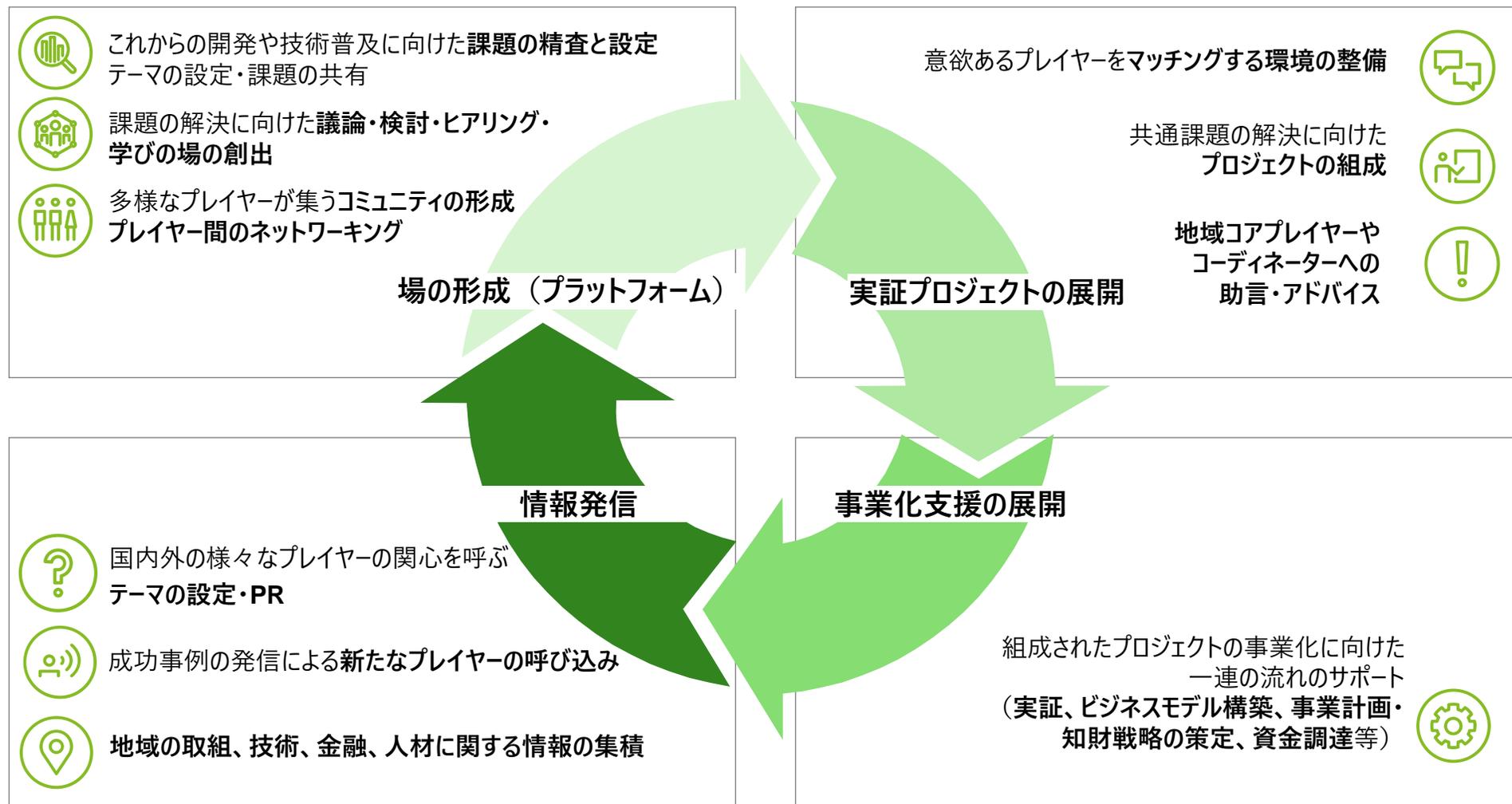
# 森ハブを中心としたエコシステムの形成においては、プレイヤーが集える「場」を整え、ネットワークを形成し、ビジネスマッチングを推進していく段階となります

## 森ハブを中心としたエコシステム形成



# 森ハブの支援内容や有すべき機能については 過年度事業にて先進事例や地域へのヒアリングを通じて検討しました

## 検討した森ハブの支援内容

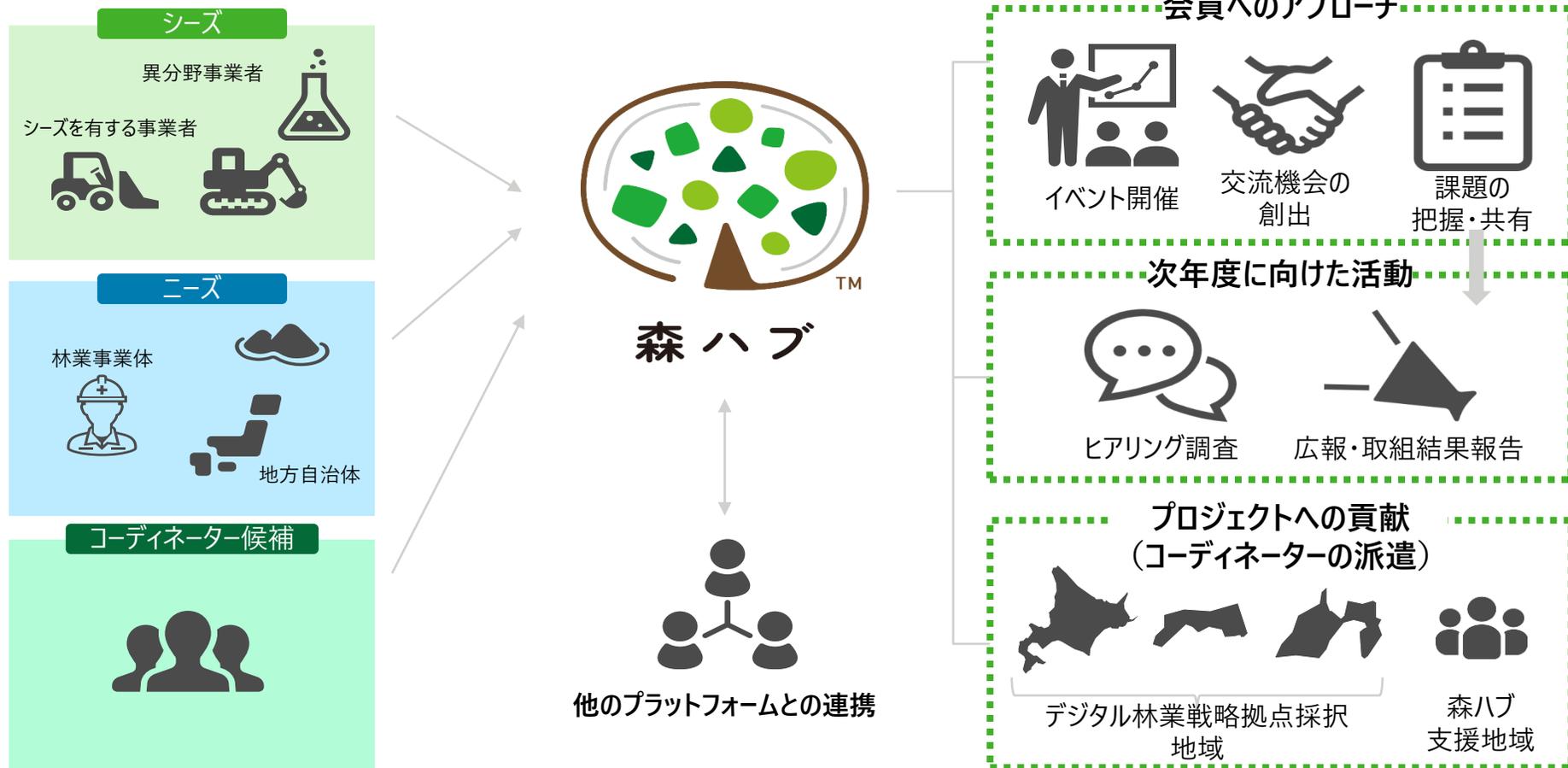


# 設置する森ハブ・プラットフォームでは課題の把握・共有やイベントを通じた交流機会の創出、並びにコーディネーターによる具体的な事業者支援を行います

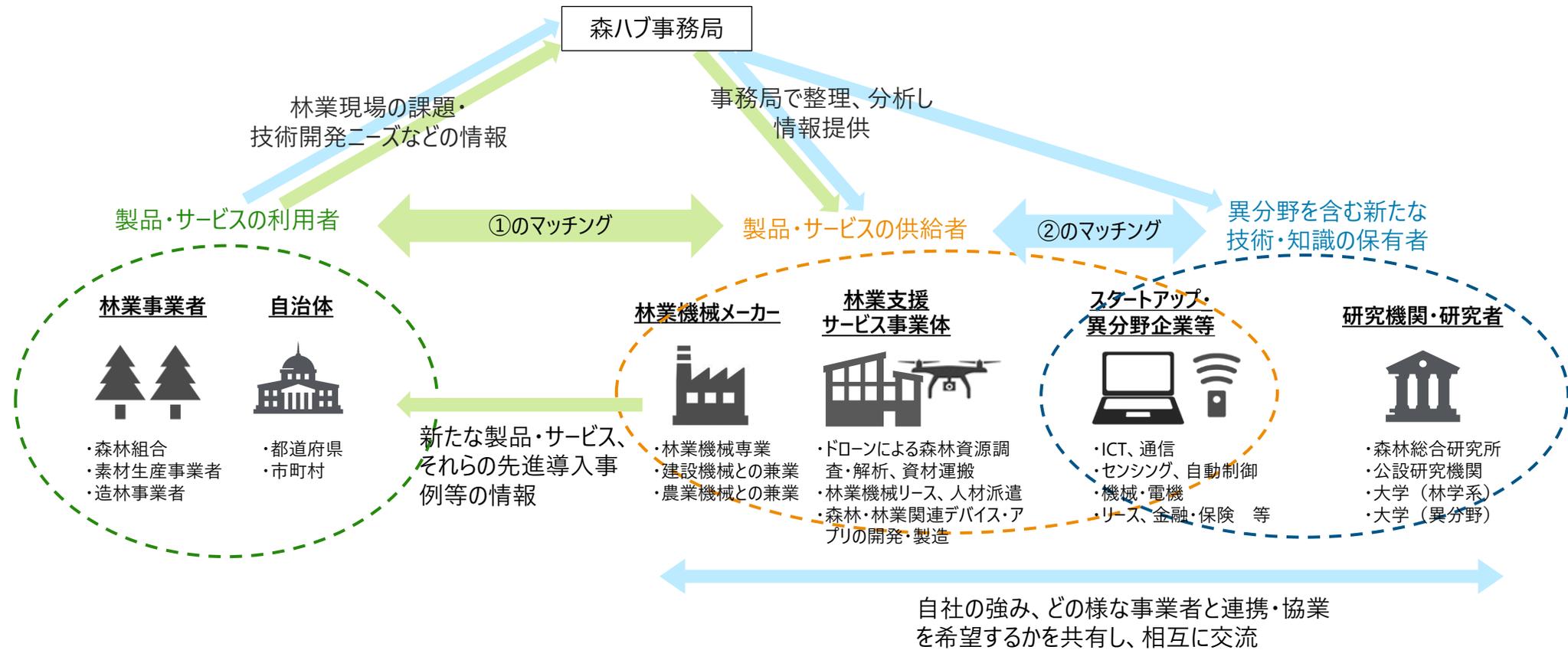
## 森ハブ・プラットフォームの全体像

### プラットフォームの 目的・位置づけ

林業イノベーションを推進するために必要となる組織・人材・情報を集約し、地域のニーズや事業者のシーズのマッチングによる新技術・新製品の普及、新たなビジネス・製品開発プロジェクト等の創出を促進し、林業の安全性と生産性向上を実現する



# 森ハブ・プラットフォームにおけるマッチングのイメージ



## ①のマッチングのねらい

林業現場のニーズにマッチした新たな製品・サービスの探索や比較検討を容易にすることで、林業現場への普及を加速

### 今後の取組案（R6年度も見据えて）

- ・マッチングイベントを開催し、製品・サービスの供給者によるプレゼン、先進導入事業者によるプレゼンを実施
- ・Webサイトにおける上記プレゼン内容のアーカイブ化

## ②のマッチングのねらい

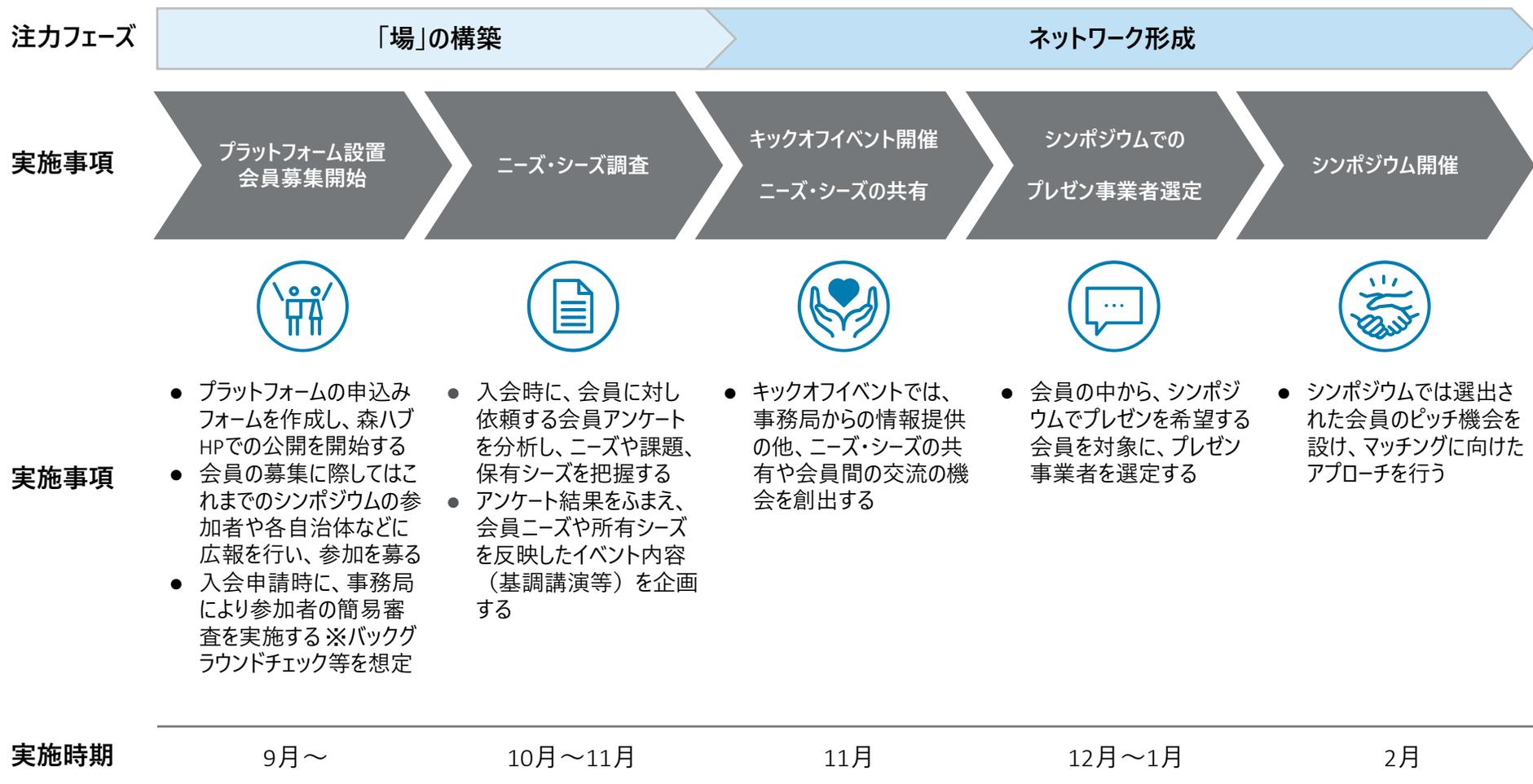
林業現場のニーズに即し、新技術を取り入れた新たな製品・サービスの開発・実用化や、新たなビジネスモデルの構築を加速

### 今後の取組案（R6年度も見据えて）

- ・マッチングイベントを開催し、各事業者がシーズ、連携・協業先の希望等をポスターやリーフレットとして掲示、参加者は自由に回遊して交流

# 今年度は、プラットフォームを設置し、会員へのニーズ・シーズ調査、イベントやシンポジウムでの会員間の交流機会を創出しマッチングに向けた取組みを実施しました

## 今年度事業の流れ



## ② 森ハブ・プラットフォーム設置

# プラットフォームへの登録は申し込みフォームより受け付け、事務局の審査を経て許可を行う流れで実施しました

## 会員登録の流れ



## 申し込みフォームの項目

#	設問	回答様式	
1	設置要領・参加規約への同意	選択式	
2	反社会的勢力排除に関する誓約書への同意	選択式	
3	プライバシーポリシーの確認	-	
4	事業者情報	事業者名	記述式
5		事業形態	選択式
6		森林・林業分野への参入状況	選択式
7		業種	選択式（複数）
8		代表者名	記述式
9		郵便番号	記述式
10		所在地	記述式
11		代表電話番号	記述式
12	設立年	記述式	

#	設問	回答様式	
13	企業WEB	企業WEB	記述式
14		担当者名	記述式
15		担当者所属部署	記述式
16		担当者電話番号	記述式
17		担当者メールアドレス	記述式
18	取組みたい領域、申込理由	興味・関心のある領域	選択式（複数） （任意）
19		森ハブへの入会にあたってのコメント （森ハブへの期待、意見・要望、自社のPR等）	自由記述 （任意）

# 森ハブ・プラットフォーム 設置要領・参加規約 (1/2)

## I 設置要領

### (設立趣旨)

第1条 我が国の林業は、人口減少・少子高齢化に対応した担い手の確保といった他産業と共通する課題とともに、厳しい地形条件等の下、作業の安全性を確保した上で、労働生産性及び林業経営の収益性を向上させるといった課題を抱えている。これらの課題を解決しながら、林業をより魅力ある産業として発展させていくためには、林業の特性を踏まえた新技術の開発から実証、実用化、普及に至る取組を効果的に進め、林業現場への導入を加速する「林業イノベーション」の実現が必要である。

「林業イノベーション」の実現には、これまで我が国の林業に携わってきた事業者等と、新たな技術や視点と森林・林業分野への高い関心を有する異分野の事業者等が集まった上で、情報共有・交流を活性化し、連携・協業を深めていくための「場」を形成することが必要である。そのために、林業イノベーションハブセンター（通称：森ハブ）に、プラットフォームを設置することとする。

### (名称)

第2条 設置するプラットフォームの名称は、「森ハブ・プラットフォーム」（以下、「本プラットフォーム」という。）とする。

### (運営)

第3条 本プラットフォームの運営は、林野庁が別に設置する「林業イノベーションハブセンター（森ハブ）」の事務局が行う。

### (取組)

第4条 事務局は、第1条の設立趣旨に則して、次の取組を行う。

- (1) 本プラットフォームの周知及び会員（第7条の会員を指す。以下同じ。）の募集
- (2) 林業イノベーションの実現に向けた取組に関する会員のニーズ等の把握
- (3) 会員にとって有益な情報の提供、会員間の情報交換の促進
- (4) ワークショップや交流会等のイベント等による協業・連携に向けたマッチング支援
- (5) 特定のテーマを取り扱うワーキンググループの組成支援
- (6) その他本プラットフォームの設立趣旨に則した必要な取組

2 事務局は、会員の事前の承諾を得ることなく、前項で定める取組の内容を変更し、又は中止することができる。

3 前項により、取組の内容を変更し、又は中止した場合、会員に不利益、損害が生じたとしても、事務局はその責任を負わないものとする。

4 本プラットフォームの取組に係る資料は、原則公開とするが、個別企業の活動や販売戦略等に関わる内容については、会員の希望により非公開とすることができる。なお、資料の公開方法は、林野庁のホームページに掲載することとする。

## (知的財産の取扱い)

第5条 第4条で定めた本プラットフォーム活動における発明、考案、新品種、意匠、著作物その他の人間の創造的活動により生み出されるもの、商標、商号、その他事業活動に用いられる商品又は役務を表示するもの及び営業秘密その他の事業活動に有用な技術上又は営業上の情報については、会員及び関係する者との協議に基づき取扱いを決定することとする。

2 会員は、本プラットフォームの名称と同一又は類似する名称を自己の商品等表示として用いらず、同名称について自己または第三者をして商標登録出願を行わない。

## (免責等)

第6条 本プラットフォームへの参加に伴う会員同士の商談・取引・契約等について、事務局は何ら利益性・正確性・安全性・適法性等を保証するものではなく、これらの商談等及びこれらに基づいて生じたいかなるトラブル・損害、会員及び本プラットフォーム外の第三者との間の紛争等について、一切の責任を負わない。

## II 参加規約

### (会員)

第7条 本プラットフォームの設立趣旨に賛同し、本プラットフォームの取組・運営に積極的に参画しようとする企業・団体等が会員となる資格を有する。

### (入会)

第8条 会員として入会を希望する者は、別に定める申込フォーマットに必要事項を入力し、事務局の承認を以て本プラットフォームに入会することができる。ただし、事務局が必要と認める場合には、入会を希望する者に対して、追加の情報提供等を求めることができるものとする。

2 事務局は、入会を希望する者が、以下の各号のいずれかの事由に該当する場合は、入会を拒否することができる。

- (1) 事務局に提出した申込内容に虚偽があった場合
- (2) 反社会的勢力である又は反社会的勢力と交流があると事務局が判断した場合
- (3) 過去本プラットフォームにて本規約に違反した者またはその関係者であると事務局が判断した場合

(4) その他、事務局が入会を適当でないと判断した場合

3 事務局は、会員が登録した企業名等の情報について、本プラットフォームの周知又は活動報告等の目的において公表することができる。ただし、会員が事務局に対し、非公表である旨を示した情報については、公表の対象外とする。

### (会員の義務)

第9条 会員は、第1条の設立趣旨を踏まえ、積極的に本プラットフォームの活動に参加するものとする。

2 会員は、その登録の内容（企業名、代表者、電話番号、メールアドレス等）に変更が生じた場合、速やかに変更事項を事務局に提出しなければならない。

## 森ハブ・プラットフォーム 設置要領・参加規約 (2/2)

### (退会・除名)

第10条 会員は、退会の意思表示を事務局に行うことで、任意に退会することができる。

2 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、事務局によって当該会員を退会させることができる。

- (1) 法令違反や犯罪行為等、公序良俗に反する行為
- (2) 本プラットフォームの運営又は活動を妨害するおそれのある行為
- (3) 委員会、事務局、会員又は第三者に対する詐欺又は脅迫行為、権利又は利益を侵害する行為
- (4) その他退会させるべき正当な理由があると事務局が判断する行為

### (会費・経費)

第11条 本プラットフォームの会費は無料とする。

2 本プラットフォームの活動の中で、会費を有料とすることが望ましいと考えられる場合、事務局から会員に対して事前にその旨を通知した上で、会費の設定を行うものとする。

### (規約の変更)

第12条 本規約は、緊急の場合を除き、改正の効力発生日の7日前までに本規約を変更する旨及び変更後の本規約の内容並びにその効力発生時期を事務局が管理運営する森ハブ紹介ページ

( <https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatu/morihub/morihub.html> ) 上に掲載して公表することにより、本規約を変更できるものとする。

2 当該変更内容の周知後、会員が規約変更日以降も本プラットフォームにおける活動を継続した場合、本規約の変更同意したものとみなす。

### (準拠法及び専属的合意管轄)

第13条 本規約及び本プラットフォームの利用に関連して事務局と会員その他の本プラットフォームの利用者との間において生じた一切の紛争については、日本法を準拠法とし、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

### 附則

この規約は、2023年8月31日より施行する。

# 森ハブ・プラットフォーム設置のリーフレットを作成し、関係各所への広報を行いました

## 広報用リーフレット

### 日本の林業にイノベーションを!

**入会費  
無料**

# 森ハブ・ プラットフォーム

林野庁では林業の安全性と生産性の飛躍的な向上を目指して、林業イノベーションを推進しています。そのために必要な組織・人材・情報が集まる場として「森ハブ・プラットフォーム」を開設します。林業イノベーションにご関心をお持ちの方は、ぜひご参加ください!

### 2023年度の予定

森ハブでは会員への情報提供、会員間の連携・ネットワーク構築を目的として、下記イベントを開催予定です。詳細は森ハブHPや会員向けメール等にてお知らせします。

**2023年11月～12月開催予定**

**森ハブ・プラットフォーム  
キックオフイベント**  
in 東京

プラットフォームに入会いただいた会員を対象に、事務局からの情報提供および会員間の交流につながるイベントを開催します。ぜひ、ご参加ください。

**2024年2月開催予定**

**林業イノベーション推進  
シンポジウム (仮)**  
in 東京

昨年度に続き、今年度も林業イノベーションに関するシンポジウムの開催を予定しております。森ハブ事業の報告、各種事例紹介など、様々なコンテンツを検討中です。昨年の様子は森ハブHPより参照いただけます。

### 森ハブ・プラットフォームでできること

**林業を行う地域・事業者のみならず**

- ✓ 新たに実用化された製品・サービスの情報を収集したい
- ✓ 課題の解決に向けて、様々な事業者とつながりたい
- ✓ 同様の課題・問題意識を持つ全国の自治体・事業者とつながりたい

**製品・サービスや技術を有する事業者・研究機関のみならず**

- ✓ 林業現場の課題や製品開発ニーズに関する情報を収集したい
- ✓ 林業現場のニーズを踏まえて、自社の製品やサービスをPRしたい
- ✓ 異分野技術や専門知識をもつビジネスパートナーを探したい

この他にも、みなさまからのご要望を踏まえ、今後の取組を検討します!

### ご入会の流れ

登録はこちら

申込フォームより登録

事務局による受付

事務局より入会通知

アンケート回答等

お問い合わせ先  
森ハブ事務局  
E-mail : [mori-hub-pf@tohmatu.co.jp](mailto:mori-hub-pf@tohmatu.co.jp)

森ハブ

森ハブHPはこちら

# プラットフォームへの会員登録は474件あり、主に林業、林業支援サービス業、製造業、公務、学術研究に関する方にご登録いただきました

## プラットフォーム会員登録状況サマリ (2/27時点)

申込受付

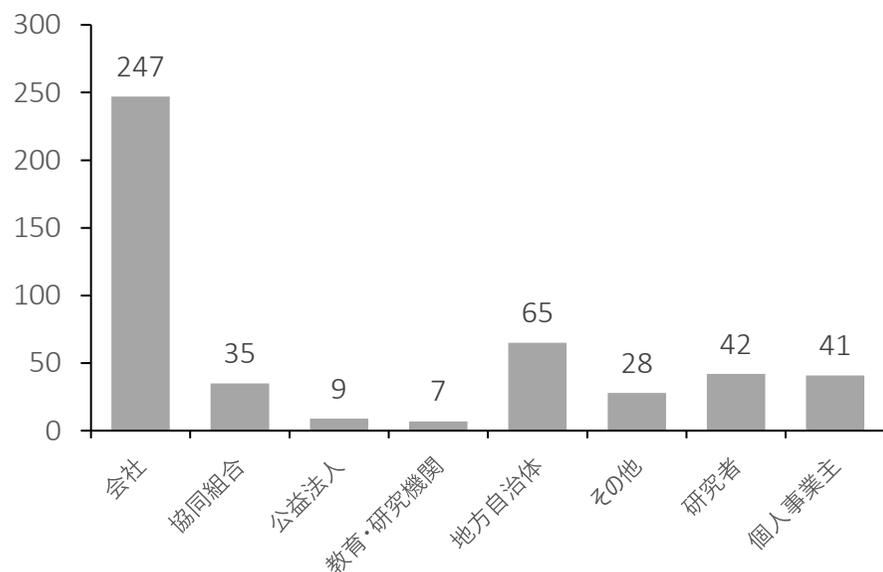
474者

(02/27 10:00時点)

### 事業形態

会員数

n=474



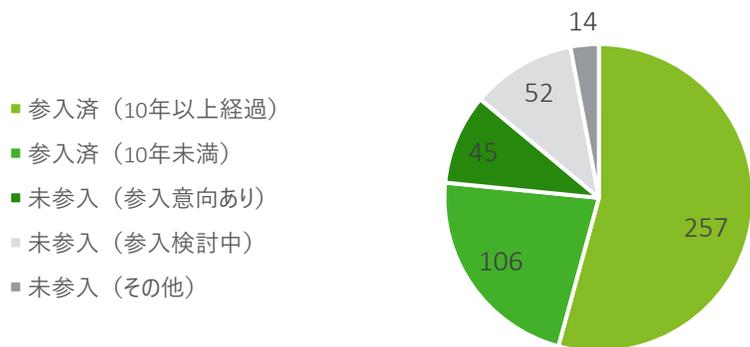
### 業種 ※複数回答

業種	件数
林業	309
林業支援サービス業	103
農業・漁業	9
鉱業	2
建設業	40
製造業	82
電気・ガス・熱供給・水道業	10
情報通信業	33
運輸業・郵便業	2
卸売業・小売業	20
金融業・保険業	11
不動産業・物品賃貸業	10
学術研究・専門・技術サービス業	74
宿泊業・飲食サービス業	3
生活関連サービス業・娯楽業	4
教育・学習支援業	11
医療・福祉	1
その他サービス業	56
公務	76
その他	28

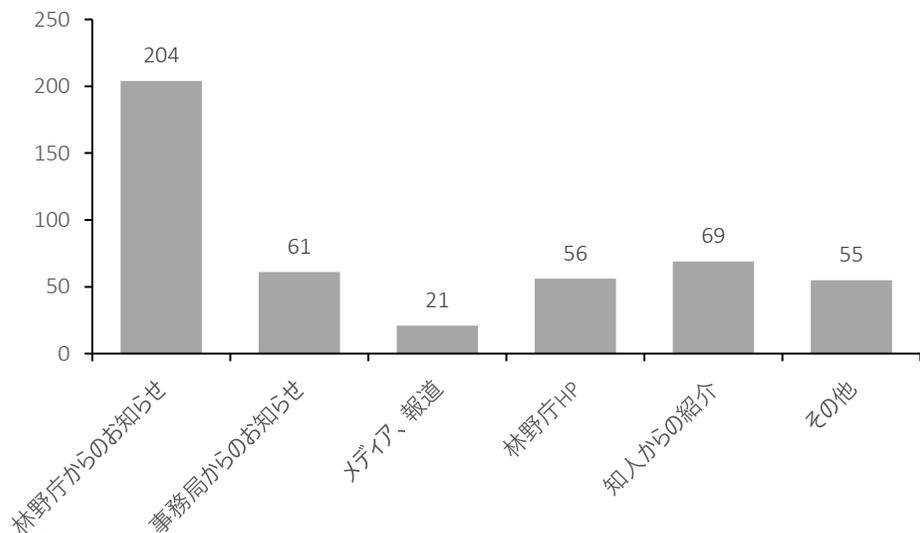
# 林業分野に参入済の事業者が約7割を占めており、興味関心のある領域は「森林調査、伐採・造林計画」「素材生産」「Jクレジット」「造林・保育」「木材流通」が挙がっています

## プラットフォーム会員登録状況サマリ（2/27時点）

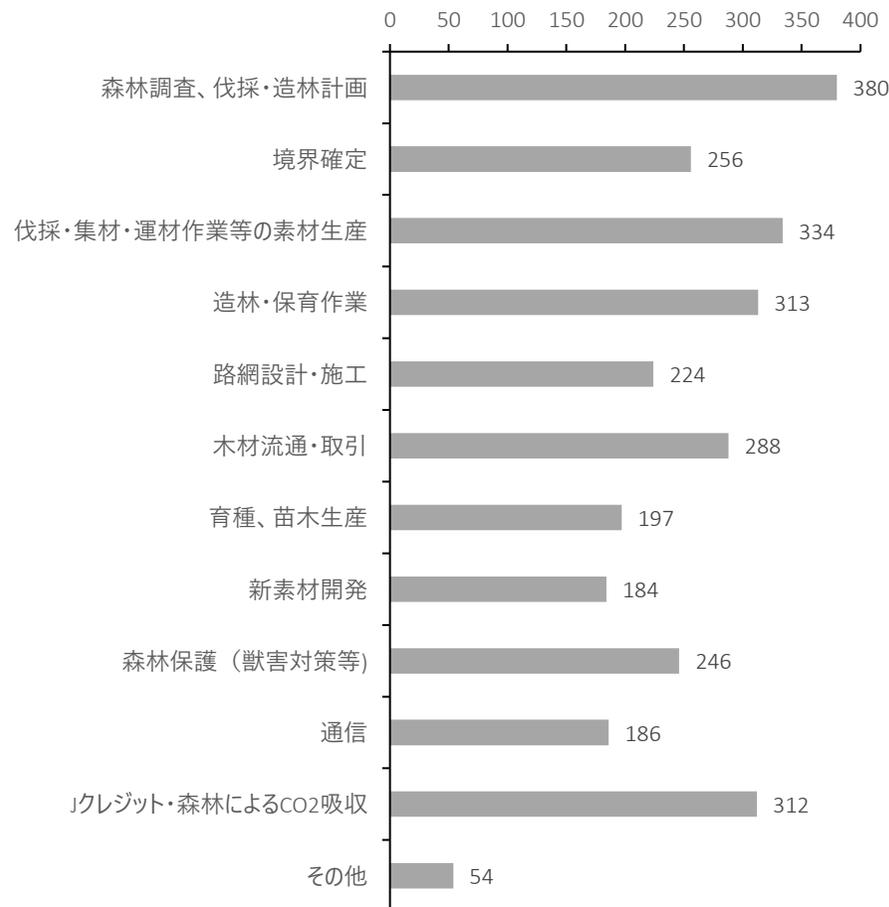
### 森林・林業分野への参入状況



### プラットフォームを知ったきっかけ



### 興味・関心のある領域 ※複数回答



# 会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施しました

## ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 1/4

森ハブ・プラットフォーム  
会員向けアンケート

貴社・貴地域の有するニーズについて教えてください  
(複数ある場合はそれぞれ内容をご回答ください)

6. (1つ目) 課題の分野

- 森林調査、伐採・造林計画
- 境界確定
- 伐採・集材・運材作業等の素材生産
- 造林・保育作業
- 路網設計・施工
- 木材流通・取引
- 育種、苗木生産
- 新素材開発
- 森林保護 (獣害対策等)
- 通信
- クレジット・森林によるCO2吸収
- その他

7. 解決したい課題の詳細（現場、業務での困りごと）

8. その課題解決に想定している期間

- 半年以内
- 1~2年以内
- 3~5年以内
- 5年以上

9. 課題を解決して実現したい未来

10. 求める解決策、必要とする技術や人材・知見等

11. 他にも課題がありますか (\* ない場合は「次へ」ボタンを押下してください)

- ある (次の課題入力へ)

ページ 2/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

# 会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施しました

## ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 2/4

貴社・貴組織の有するシーズについて教えてください ※研究段階の技術含む  
(複数ある場合はそれぞれご回答ください)

### 12. (1つ目) シーズの分野

※どの分野に該当するか不明な場合は「その他」を選択してください

- 森林調査、伐採・造林計画
- 境界確定
- 伐採・集材・運材作業等の素材生産
- 造林・保育作業
- 路網設計・施工
- 木材流通・取引
- 育種、苗木生産
- 新素材開発
- 森林保護（獣害対策等）
- 通信
- クレジット・森林によるCO2吸収
- その他

### 13. シーズの詳細（※具体的な研究内容や技術内容、シーズの強みや特徴）

回答を入力してください

### 14. 連携したい企業・地域や人材等

回答を入力してください

### 15. 他にもシーズがありますか（※ない場合は「次へ」ボタンを押下してください）

- ある（次のシーズ入力へ）

戻る

次へ

ページ 3/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

# 会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施しました

## ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 3/4

森ハブ・プラットフォーム機能のうち、「会員にとって有益な情報の提供、会員間の情報交換の促進」についてお答えください

16. 次の選択肢のうち、森ハブに最も期待する機能はどれですか（順位を付けてください）

会員にとって有益な情報の提供、会員間の情報交換の促進

ワークショップや交流会等のイベント等による協業・連携に向けたマッチング支援

特定のテーマを取り扱うワーキンググループの組成・活動支援

共通課題の解決に向けたプロジェクトの組成・事業化に向けたサポート

17. どのような情報の提供を期待していますか

回答を入力してください

18. 会員間の情報交換の促進について、具体的な希望があれば教えてください

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 4/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

森ハブ・プラットフォーム機能のうち「ワークショップや交流会等のイベント等による協業・連携に向けたマッチング支援」についてお答えください

19. 望ましいイベントの参加手段について

現地/会場で参加したい

オンラインで参加したい

その他

20. 期待するイベントの形式について（複数回答可）

有識者による基調講演・勉強会

ワorkshop・グループワーク

交流会・懇親会

会員自身によるプレゼンやポスター発表などのニーズ・シーズに関する情報発信

その他

21. その他、イベントにかかる具体的な希望等

回答を入力してください

22. マッチングにかかる具体的な希望等

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 5/7

# 会員向けにニーズ・シーズに関するアンケートを実施しました

## ニーズ・シーズ調査（アンケート内容） 4/4

森ハブ・プラットフォーム機能のうち「共通課題の解決に向けたプロジェクトの組成・事業化に向けたサポート」についてお答えください

23. プロジェクトの組成・事業化に向けたサポートにかかる具体的な希望

回答を入力してください

戻る

次へ

ページ 6/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

森ハブに対する意見等

24. その他、事務局への要望事項、ご不明点、相談事項などございましたらご記載ください

回答を入力してください

戻る

送信

ページ 7/7

パスワードを記載しないでください。 [不正使用を報告する](#)

# 会員向けに会員紹介シートの作成を依頼しました

## 会員紹介シートフォーマット

XXXX株式会社		作成日（更新日）：2023/XX/XX	MORI-HUB
企業ロゴ 市章・町章 イメージ写真等	住所	〒	
	代表電話番号		
	創業年 （※企業のみ）		
	WEBページ		
	担当者所属・名前		
	担当者連絡先	TEL :	MAIL :
事業・研究の 概要	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
強み・独自性	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
興味・関心のある領域	森林調査、伐採・造林計画 / 境界確定 / 伐採・集材・運材作業等の素材生産 造林・保育作業 / 路網設計・施工 / 木材流通・取引 / 育種、苗木生産 / 新素材開発 森林保護（獣害対策等） / 通信 / Jクレジット・森林によるCO2吸収 / その他（ ）		
取組みたい課題 ・ 連携したい地域・ 企業等のイメージ	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		
その他自由記述	➢ XXX ➢ XXX ➢ XXX		

※ 情報は記載時点のものとし、会員外への公開はお控えください  
ご記載いただいた情報は森ハブプラットフォーム会員を対象に配布・公開いたしますので予めご留意ください。

## ④キックオフイベント実施報告

# 森ハブ・プラットフォームへの参画を促すプロモーション活動および会員間の交流機会創出を目的として、キックオフイベントを行いました

## キックオフイベント実施概要

目的・位置づけ	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 森ハブ・プラットフォームへの参画促進</li><li>✓ 森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、今後の取組、林業現場の課題・ニーズ情報の共有</li><li>✓ 森ハブ・プラットフォーム会員間の交流機会創出</li></ul>
開催日時	2023年11月29日（水） 13:30～16:15
開催方法	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 農林水産省講堂</li><li>✓ オフラインのみでの実施とする</li></ul> ただし、第1部の内容はZoomの録画機能で動画撮影し 後日会員向けにYoutubeリンクの限定公開で共有する
対象者	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 森ハブ・プラットフォーム会員 (森ハブ事業に興味・関心が高い企業や地域等を想定)</li><li>✓ 参加予定人数：上限200人</li></ul>

# 当日はアンケート結果を基にした課題・ニーズ等の情報提供や、今後のプラットフォームでの活動において会員間のマッチングに繋げていくためのプログラムを実施しました

## 当日のプログラム

	プログラム	内容	発表者	時間配分
第1部	1. 主催者挨拶	—	林野庁	5分
	2. 主催者説明「森林・林業政策の展開方向と林業イノベーションの現場実装に向けた取組」	森ハブ・プラットフォーム設置の背景・目的、機能・今後の展開、林業現場の課題・ニーズ等について説明	林野庁	20分
	3. 講演「静動脈連携～課題起点の社会デザイン～想像から創造へ」	プラットフォームを活用してどのように自らの事業等に役立てることができるか、自ら発信していくこと、能動的に参画することの重要性について会員へアドバイス	森ハブ専門委員 見山先生	20分
	4. 事例紹介 ①株式会社中川「ドローンによる苗木運搬」 ②eleverlabo合同会社「世界最小機械製造メーカーへの道のり」	事例①：新たな技術を導入して生産性、安全性が改善、職員の生活や採用・人材育成にも好影響の事例として紹介 事例②：他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化した事例として紹介	【進行・総括】 森ハブ専門委員 立花先生 【発表】 各事業者	45分
		休憩（レイアウト変更）		
第2部	5. 情報交換会（会員間交流）	事前アンケートで興味関心のある分野を選択いただき、ブースに分かれて自己紹介 & 情報交換	【各ブース進行】 トーマツ・林野庁	60分

令和5年度

森ハブ・プラットフォーム

キックオフイベント

林業イノベーションの推進に必要な組織・人材・情報が集まる「森ハブ・プラットフォーム」を今年9月に開設し、既に多くの企業等に会員になっていただいています。  
本イベントでは、プラットフォームの今後の活動紹介や、会員へのアンケート結果を踏まえた林業現場の課題・技術開発ニーズなどの情報提供、さらには会員間の交流を行います。  
会員の皆様はもちろん、この取組に関心のある企業等の皆様も、この機会にぜひご参加ください！



日時 令和5年11月29日(水)  
13:30～16:15 参加費無料

会場 農林水産省 7階講堂  
(東京都千代田区霞が関 1-2-1)

申込方法

お申込みは森ハブ・プラットフォーム会員に限りです【申込期限：令和5年11月20日(月)】

① まずは会員登録を行ってください。  
(既に登録済みの方は②へ)



会員登録フォームはこちら

② イベント参加の申込みは、申込フォームより行ってください。  
※応募状況を踏まえ、参加人数を調整させていただきます。

申込フォームはこちら

申込用QRコード

プログラム(予定)

**第1部**  
13:30 - 13:35 主催者挨拶  
13:35 - 13:55 主催者説明 (森ハブ・プラットフォームについて)  
13:55 - 14:15 講演「  
見山 謙一郎 氏 [事業構想大学院大学 特任教授]  
14:15 - 15:00 事例紹介・総括  
立花 敏 氏 [筑波大学 生命環境系 准教授]  
※第1部の内容は、後日、会員向けに動画で共有されます。

**第2部**  
15:15 - 16:15 会員間交流・情報交換会

事例①ドローンによる苗木運搬

中川 雅也 氏 [株式会社中川]

新技術の積極導入により、生産性、安全性の向上に加え、雇用環境を改善、新たなビジネス機会も創出。



事例②電動型一輪クローラの開発

上月 康博 氏 [elever labo 合同会社]

他分野から林業分野へ参入し、現場ニーズを踏まえて造林作業向けの機械を開発、製品化。



<主催>  
林野庁  
<お問い合わせ先>  
森ハブ事務局：有限責任監査法人トーマツ  
E-mail: mori-hub-pf@tohmatu.co.jp

森ハブ・プラットフォームの  
詳細はこちら (林野庁HP)  
<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kaihatsu/morihub/morihub.html>



ステージ



# イベント当日は、林業・異分野を含め161人の方にご参加いただきました

## 当日の参加状況

### ■ 参加状況

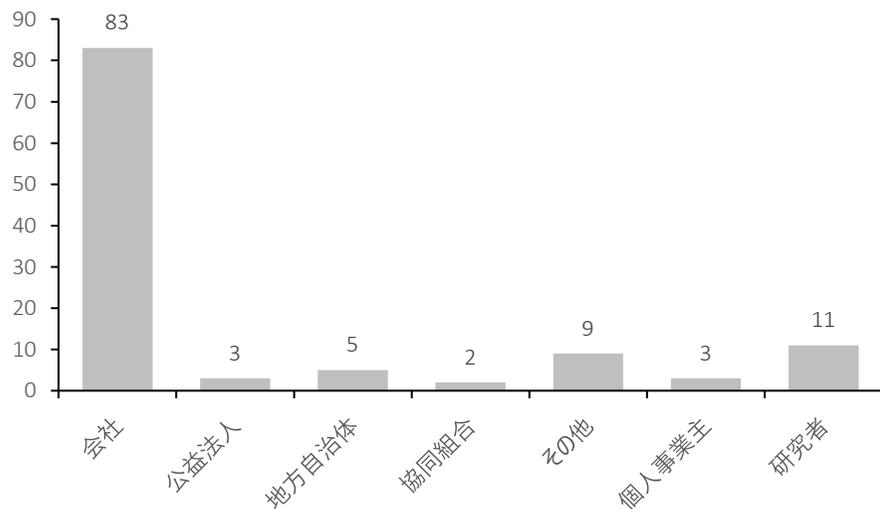
参加人数

161人（組織数：116）  
※登壇者・マスコミ除く

### 参加者の事業形態

組織数

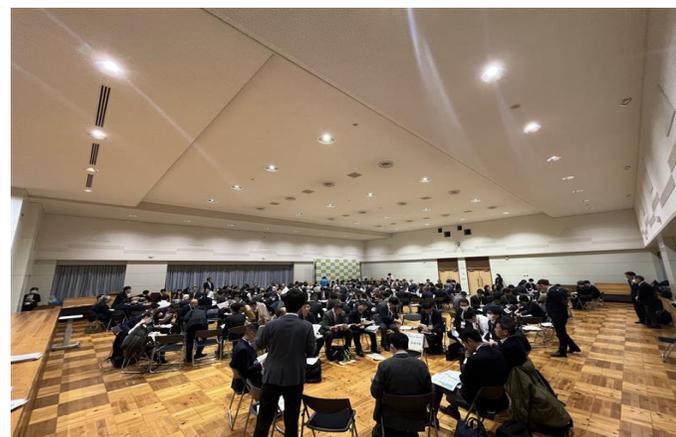
n=116



### ■ 当日の様子 第1部

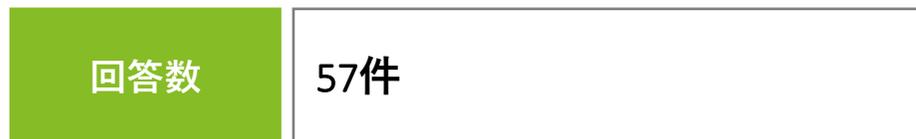


### 第2部

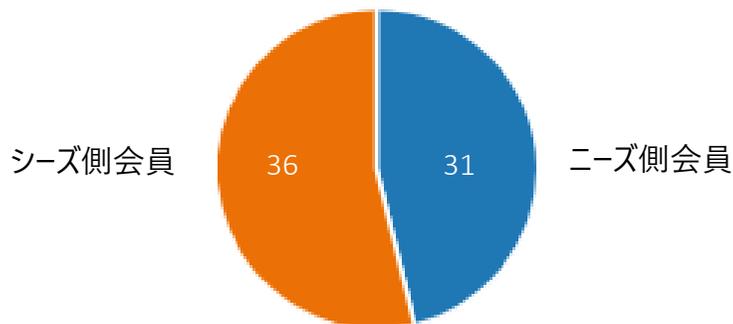


# 事後アンケートでは、第1部について9割以上の方が「有意義だった」「どちらかといえば有意義だった」と回答いただきました

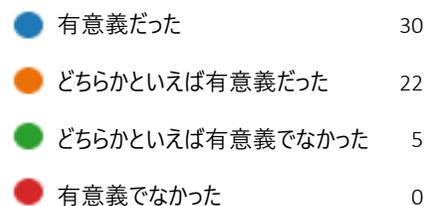
## 事後アンケート結果 (1/2)



### 回答者属性 (複数回答)



### 第1部の感想 (単一回答)



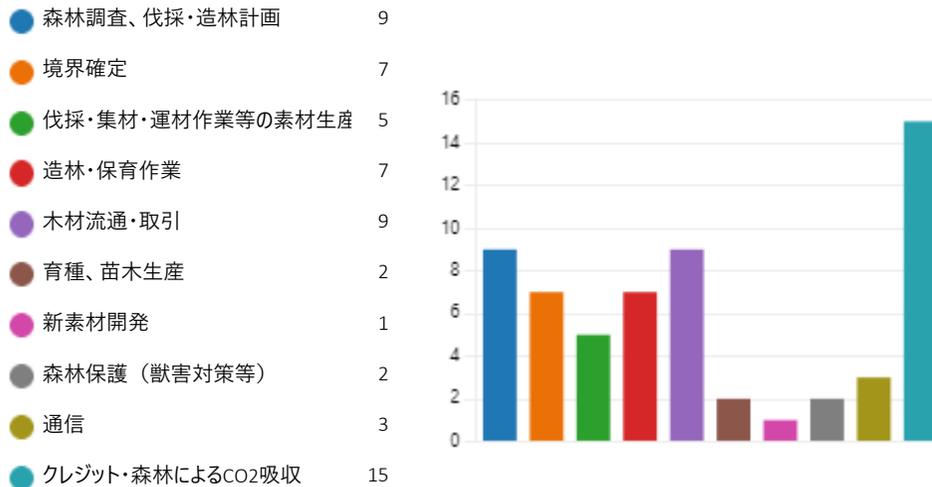
#### 【主なコメント内容】

- ✓ 林業における課題や、林野庁の取り組み方針を聞くことができ参考になった
- ✓ 見山先生の講演は参考になった、興味深い内容だった
- ✓ 事例紹介について具体的な内容で参考になった
- ✓ 事業を展開する上で、重要な要素のひとつである「ひと」に出会う機会になった
- ✓ 内容に対して時間がタイト、詰め込みすぎではないか
- ✓ 事例紹介について、異分野の融合というより基本的には従来の林業における延長線と感じた
- ✓ 森ハブとして他企業とつながるための情報として期待していた内容とは異なっている部分が多かった

# 第2部については、他社の取組みや現場の課題・ニーズを知ることができ有意義だったと回答いただいている一方、時間が短かった・声が聞こえづらかった等の意見がありました

## 事後アンケート結果 (2/2)

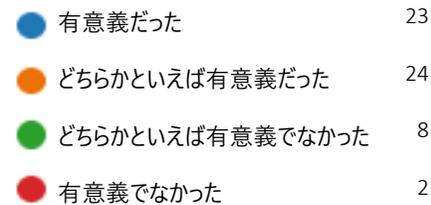
第2部で参加したブース (複数回答)



## 今後のプラットフォーム運営に関する要望

- ✓ 会員間交流・情報交換会をメインにした場の設定を希望
- ✓ 少人数での意見交換の場があるとよい
- ✓ slackなどで自由に交流出来るとよい
- ✓ もう少し長めの時間をとって、グループワークができるようなイベントの企画をお願いしたい
- ✓ シーズ側のプレゼンだけでなく、ニーズ側のリアルな課題・現状を伝えるようなプレゼン機会を企画された方がよい

第2部の感想 (単一回答)



### 【主なコメント内容】

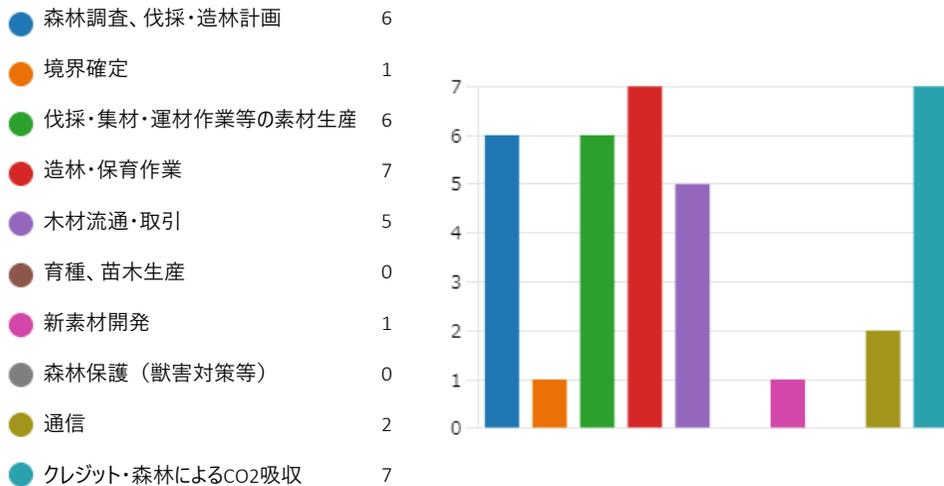
- ✓ 他社の取組みや強み、課題感を知ることができた
- ✓ 現場の課題・ニーズを聞くことができ参考になった
- ✓ 普段話す機会のない方々と同じ課題について議論ができ有意義だった
- ✓ 異業種との交流ができてよかった
- ✓ 時間が短かった、他のブースとの交流も図れる時間が欲しかった
- ✓ 人数が多く、声が聞き取りづらかった
- ✓ (ブースによっては) 参加人数が少なく残念だった

# 第2部（情報交換会）参加者向けに、実施効果を確認するためのアンケートを実施し、回答者のうち約8割の方が新たな事業者との面識ができた等の効果を回答いただきました

## 第2部参加者向けフォローアップ・アンケート結果

実施期間	2024年2月15日～2月23日
回答数	32件

### 第2部で参加したブース（複数回答）



### 第2部に参加した効果（複数回答）



### 今後参加を希望するイベント内容や要望

#### 【主なコメント内容】

- ✓ 情報交換のための時間が短かった
- ✓ 対面で情報交換できる機会を引き続き設けてほしい
- ✓ 林業事業者の参加が過半数になる様なイベント、事業者の方の具体的なニーズを把握する場があればよい
- ✓ テーマごとに集まるグループセッションや、分科会的な個別開催があると具体の意見交換がしやすい

## ⑤シンポジウム実施報告

# 2月のシンポジウムでは、森ハブ事業報告とプラットフォーム会員のマッチング促進を目的としたシーズ提案事業者によるプレゼンと個別相談会を実施しました

## シンポジウム実施概要

名称	令和5年度林業イノベーション現場実装シンポジウム
開催日時	2024年2月8日（木）：森ハブ事業 2月9日（金）：林業機械化協会実施事業
開催方法	✓ 会場：木材会館（新木場） <a href="https://www.mokuzai-tonya.jp/mokuzaikaikan/index.html#access">https://www.mokuzai-tonya.jp/mokuzaikaikan/index.html#access</a> ✓ 後日動画共有あり
対象者	✓ 林業イノベーションや森ハブに興味をお持ちの方（プラットフォーム会員に限らない） ✓ 定員：250人 ※8日は1機関2名までとする、9日は特に制限しない
2月8日 プログラム (予定)	第1部（10:00～12:30） ・森ハブ事業報告【30分】 ・デジタル林業戦略拠点報告【60分】 ・パネルディスカッション【50分】  第2部（13:30～17:00）*森ハブ・プラットフォーム会員のみ参加 ・林業現場の課題解決に役立つ最新技術の プレゼンテーション ・情報交換会・個別相談会

# 当日は第1部で森ハブ事業報告やパネルディスカッションを行い、第2部でプラットフォーム会員のうちシーズ提案事業者によるプレゼンや個別相談会を実施しました

## 2月8日実施プログラム

	プログラム	内容	発表者	時間配分
第1部	1. 開会挨拶	—	林野庁	5分
	2. 森ハブ事業報告	今年度取組み（テーマ4 地域への伴走支援、テーマ5 プラットフォーム構築）について説明	トーマツ 南那珂森林組合	30分
	3. デジタル林業戦略拠点構築推進事業の報告	3拠点(北海道、静岡、鳥取)の地域コンソより、今年度の取組みについて説明	住友林業 地域コンソ	60分 (1地域15分、事務局15分)
	4. パネルディスカッション	森ハブ・プラットフォームのこれまでを振り返り、今後の活動を展望	立花先生 見山先生 柴田委員 中澤室長 安高課長	50分
	昼休憩			
第2部	5. 森ハブ・プラットフォーム会員によるシーズ提案のプレゼンテーション	プラットフォーム会員が、林業現場の課題解決に資する製品・サービス等を提案するプレゼンを実施	森ハブ・プラットフォーム 会員	120分 (1社15分)
	休憩（レイアウト変更）			15分
	6. 情報交換会・個別相談会	プレゼン登壇者との個別相談や、会員同士の情報交換を実施	—	60分

# 【ご参考】シンポジウムリーフレット

令和5年度  
**林業イノベーション  
現場実装シンポジウム**  
～地域から林業の未来を創造しよう～

林業の安全性や生産性を向上し、より魅力ある産業として発展させるためには、林業の特性を踏まえた新技術の開発・実用化を進め、林業現場への導入を加速する「林業イノベーション」が必要です。本シンポジウムは、林業イノベーションを促進するため、各地域における取組や最新の技術開発の動向を紹介するとともに、関係者の交流の場を提供します。



**開催日**  
令和6年 **2月8日(木)**  
**2月9日(金)**

**会場**  
**木材会館7階大ホール  
6階小ホール**  
(東京都江東区新木場1-18-8)

**プログラム**

2月8日(木)

**第1部** 森ハブ事業報告  
・デジタル林業戦略拠点構築推進事業報告  
・パネルディスカッション  
**森ハブ・プラットフォーム会員限定**

**第2部** 森ハブ・プラットフォームマッチングミーティング

2月9日(金)

**第1部** 「新しい林業」の実践に向けた取組み  
・基調講演  
・実証事業報告

**第2部** 林業機械開発の最新情報  
・開発・実証事業成果報告  
詳細は裏面をご覧ください

※プログラムの内容は、後日A-マガ(裏面)に紹介します。ただし、2月8日の参加については、A-マガ(裏面)に動員も会員限定です。

**参加費無料** 【申込期限: 令和6年1月31日(水)】

イベント参加の申込みは、申込フォームより行ってください。

申込フォームはこちら  
<https://forms.office.com/e/dXzCY492VpVn>

※応募状況を確認し、参加人数を調整させていただく可能性があります。

2月8日の第2部へ参加する方は、森ハブ・プラットフォームの会員登録が必要です。

会員登録フォームはこちら  
<http://forms.office.com/v/qYX1mmamTAm>

<主催> 林野庁・一般社団法人 林業機械化協会

<お問い合わせ先> 2月8日について  森ハブ事務局: 有限責任監査法人トーマツ  
E-mail: mori-hub-pf@tohmatu.co.jp

2月9日について  一般社団法人 林業機械化協会  
E-mail: www-admin@rinkikyoo.or.jp

プログラム

2月8日(木) 大ホール・小ホール

**第1部** 10:00～12:30 森ハブ事業報告

開会あいさつ	林野庁
森ハブ事業報告	トーマツほか
デジタル林業戦略拠点構築推進事業報告	ハーベスタの生産データを活用したICT生産管理 : スマート林業EZOモデル構築協議会 需要と供給が一体となって進めるマッチングシステムの構築 : 静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム 新たな木材生産流通につながるSCMシステムの構築 : 鳥取県デジタル林業コンソーシアム
パネルディスカッション ～森ハブ・プラットフォームのこれまでに振り返り、今後の活動を展望する～	モデレーター: 筑波大学 准教授 立花 敬 パネリスト: 事業構想大学院大学 特任教授 見山 謙一郎 柴田産業 代表取締役 柴田 君也 森林総合研究所 収穫システム研究室長 中澤 昌彦 コメンテーター: 林野庁 研究指導課長 安高 志徳

**第2部** 13:30～17:00 森ハブ・プラットフォーム マッチングミーティング 会員限定

林業現場の課題解決に役立つ最新技術のプレゼンテーション

森ハブ・プラットフォーム会員が、林業現場の課題解決に資する製品・サービス等を提案します。対象は、①森林調査・伐採・造林計画、②境界画定、③集材生産、④造林・保育の4分野です。

個別相談・情報交換会

上記4分野のプレゼン登壇者との個別相談ブースや、会員同士が自由出入りして情報交換するために分野別ブース(木材流通、通信等も含む)を設けます。

2月9日(金) 大ホール

**第1部** 10:00～12:30 「新しい林業」の実践に向けた取組み

開会あいさつ	林業機械化協会
基調講演	林業機械の未来と林業の将来 : 森林総合研究所 研究ディレクター 宇都木 玄 世界標準に向けた素材生産の機械化とその方向 : 日本木材輸出振興協会 会長 山田 壽夫
「新しい林業」経営モデル実証事業報告	北欧モデルにした北海道・十勝型機械化林業経営 : 大板林業、渡邊組、サンエイ緑化、森林総合研究所、北海道立総合研究機構、アオテック 川上と川下のデータ連携を柱とするコスト削減と山元還元の実証事業 : 北信州森林組合、信州大学、精密林業計測 森林管理組織「リフォレながと」を核とした長門型林業経営モデル構築事業 : リフォレながと、山口県農林総合技術センター、住友林業
総括	林野庁 林業労働・経営対策室長 岡村 篤憲

**第2部** 13:30～16:30 林業機械開発の最新情報

林業機械の自動化・遠隔操作化に向けた開発・実証事業成果報告

立体映像装置・シンクロ式アジストウィンチを備えたラジコン式伐倒作業車の開発・実証  
: 松本システムエンジニアリング  
日本版ウィンチアシストシステムの事業規模での実証と改良  
: 住友林業、日本キヤウビロー、天女山  
集材・運材作業の自動化に向けた先端技術を活用したフォワーダの開発・実証  
: 諸岡、パナソニックアドバンステクノロジー、森林総合研究所、東京農工大学、国際電気通信基礎技術研究所  
AIを活用した集材・造材マルチワークシステムの実証  
: イワフジ工業、中井林業  
通信型下り機械の遠隔自動運転・運行監視システムの開発・実証  
: NTTコム、気水キヤコム、阿蘇森林組合

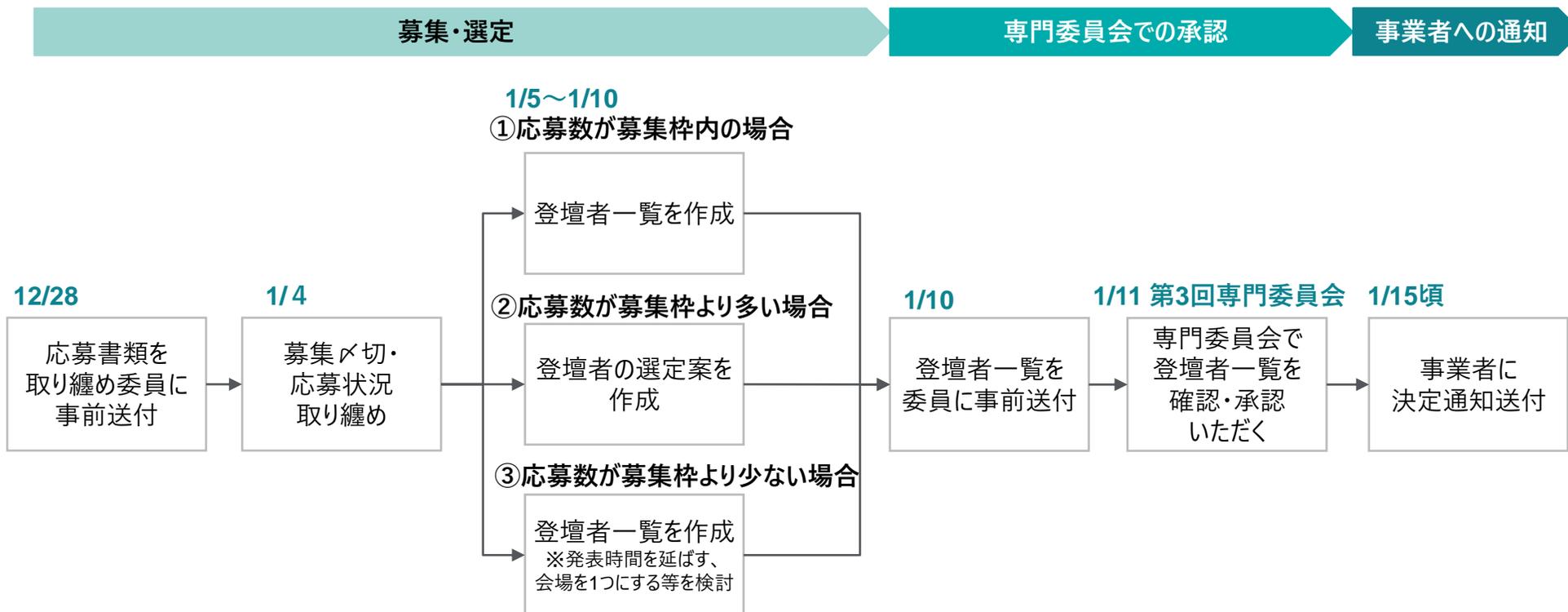
総括

林野庁 技術開発推進室長 増田 義昭

2024.1.17一部修正 (敬称略)

# シンポジウムピッチ登壇者選定

## ■登壇者選定に向けた流れ



## ■②応募数が募集枠より多い場合の選定基準

### 選定基準

- ✓ 林業現場における課題・ニーズに合致する度合いが高く、それらの解決に資する度合いが高いと思われる製品・サービスの紹介を優先（開発中の要素技術等については対象外）
- ✓ 新規性が高いなど林業現場での認知度が低く、情報収集ニーズが高いと思われる製品・サービスの紹介を優先
- ✓ 選定にあたっては、対象4分野（森林調査・計画、境界画定、素材生産、造林・保育作業）毎の件数のバランスに留意

## 募集内容 1 (シーズ提案) の応募方法

<p>提案資料 の用途</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2月8日第Ⅱ部の資料として参加者に配布するとともに、全ての森ハブ・プラットフォーム会員に対して電子データで配布します。</li> </ul>
<p>応募条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>森ハブ・プラットフォーム会員であること</li> <li>林業現場における課題・ニーズを踏まえて、それらの解決に資する製品・サービスの紹介であること (開発中の要素技術等については、今回は対象外です。)</li> <li>下記分野における林業現場の課題・ニーズ*に合致する製品・サービスの紹介であること             <ul style="list-style-type: none"> <li>①森林調査、伐採・造林計画、②境界確定、③伐採・集材・運材作業等の素材生産、</li> <li>④造林・保育作業、⑤木材流通・取引、⑥育種・苗木生産、⑦新素材開発、⑧森林保護 (獣害対策等)、⑨通信、⑩Jクレジット・森林によるCO<sub>2</sub>吸収、⑪その他</li> </ul> </li> </ul>
<p>応募方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙のシーズ提案様式に記入し、メールに添付して森ハブ事務局宛にお申込みください              メール件名：【森ハブ】募集内容 1 (シーズ提案) の提出              メール送付先：<a href="mailto:mori-hub-pf@tohmatsumsu.co.jp">mori-hub-pf@tohmatsumsu.co.jp</a>              森ハブ事務局 (有限責任監査法人トーマツ)</li> </ul> <p>※様式はパワーポイントでご提出ください (PDF化しないでください)</p>

## 募集内容 2 (ピッチセッションへの登壇) の応募方法

### 提案資料 の用途

- 2月8日第2部の資料として参加者に配布するとともに、全ての森ハブ・プラットフォーム会員に対して電子データで配布します。
- ピッチセッション登壇者の決定※にあたっての参考資料として使用します。

※応募多数の場合は、森ハブ専門委員会での検討を経て、ピッチセッションでのご登壇者を選定させていただく場合がございます。予めご了承ください。

### 応募条件

- 森ハブ・プラットフォーム会員であること
- 林業現場における課題・ニーズを踏まえて、それらの解決に資する製品・サービスの紹介であること  
(開発中の要素技術等については、今回は対象外です。)
- 下記分野における林業現場の課題・ニーズ\*に合致する製品・サービスの紹介であること
  - ①森林調査、伐採・造林計画、②境界確定、③伐採・集材・運材作業等の素材生産、
  - ④造林・保育作業
- 2月8日(水)のシンポジウム当日に会場での説明が可能なこと

### 応募方法

- 別紙のシーズ提案様式に記入し、メールに添付して森ハブ事務局宛にお申込みください  
 メール件名：【森ハブ】募集内容2 (ピッチセッションへの登壇) の提出  
 メール送付先：[mori-hub-pf@tohmatu.co.jp](mailto:mori-hub-pf@tohmatu.co.jp)  
 森ハブ事務局 (有限責任監査法人トーマツ)

※様式はパワーポイントでご提出ください (PDF化しないでください)

※2月8日当日の発表資料は、ピッチセッションへの登壇決定後に別途ご準備ください (パワーポイント、様式自由)

# 事業者名

【問合せ先】  
連絡先：  
担当者名：

提案内容について、会員から直接問合せをして頂くことを前提にご記載ください

## 事業概要

- XXX
- XXX

## 解決を目指す林業現場の課題・ニーズ

- 分野：  
課題・ニーズ：
- 提案の対象となる該当分野を以下から選んで記載してください
- ① 森林調査、伐採・造林計画
  - ② 境界確定
  - ③ 伐採・集材・運材作業等の素材生産
  - ④ 造林・保育作業
  - ⑤ 木材流通・取引
  - ⑥ 育種・苗木生産
  - ⑦ 新素材開発
  - ⑧ 森林保護 (獣害対策等)
  - ⑨ 通信
  - ⑩ Jクレジット・森林によるCO<sub>2</sub>吸収
  - ⑪ その他
- 次ページ以降の「ニーズ・シーズアンケート結果資料」及び、11/29キックオフイベントでの林野庁説明資料P.2-8を参考にして記載ください

## 提案するシーズ(製品・サービス)の内容

- ・提案するシーズの内容について、文章、図表、写真等を用いて自由に記載してください
- ・提案するシーズに関する紹介ページや動画等のURL、二次元バーコード等を掲載して頂いても結構です

## シーズにより期待される効果

ご提案されるシーズの導入により、上記の課題・ニーズがどの様に解決されるかをご記載ください

## 事業者名

【問合せ先】  
連絡先：  
担当者名：

提案内容について、会員から直接問合せをして頂くことを前提にご記載ください

### 事業概要

- XXX
- XXX

### 解決を目指す林業現場の課題・ニーズ

分野：

提案の対象となる該当分野を以下から選んで記載してください

課題・ニーズ：

- ① 森林調査、伐採・造林計画
- ② 境界確定
- ③ 伐採・集材・運材作業等の素材生産
- ④ 造林・保育作業

次ページ以降の「ニーズ・シーズアンケート結果資料」及び、11/29キックオフイベントでの林野庁説明資料P.2-8を参考にして記載ください

### 提案するシーズ(製品・サービス)の内容

- ・提案するシーズの内容について、文章、図表、写真等を用いて自由に記載してください
- ・提案するシーズに関する紹介ページや動画等のURL、二次元バーコード等を掲載して頂いても結構です

### シーズにより期待される効果

ご提案されるシーズの導入により、上記の課題・ニーズがどの様に解決されるかをご記載ください

# 募集内容 1（シーズ提案）へは11件、募集内容 2（ピッチ登壇）へは16件の応募がございました

## シーズ提案募集結果

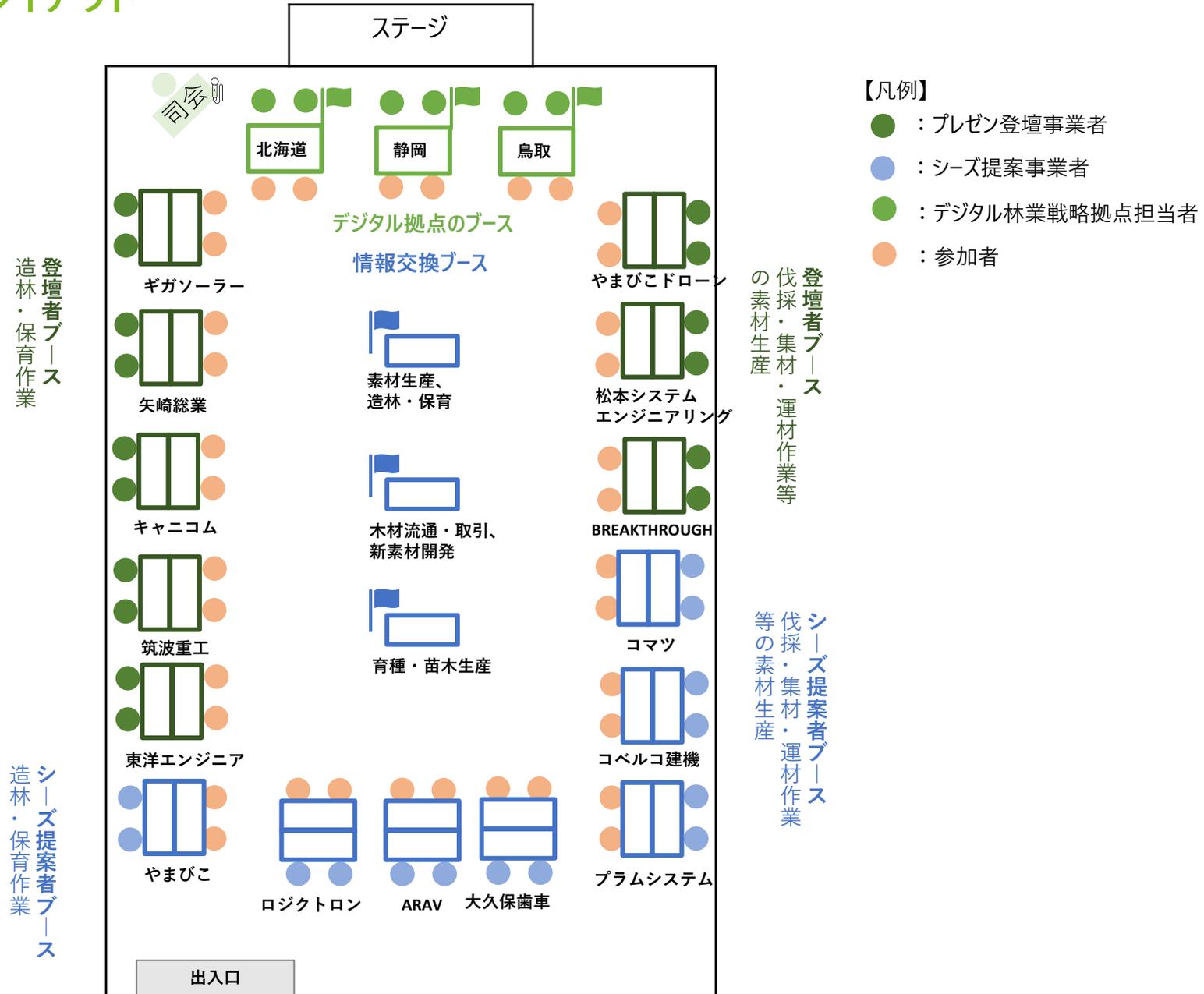
### 【募集内容 1（シーズ提案）への応募事業者】

①森林調査、伐採・造林計画 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 北海道国立大学機構 オープンイノベーションセンター</li> <li>➤ 西日本電信電話株式会社 東海支店</li> </ul>
②境界確定 1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社woodinfo</li> </ul>
③伐採・集材・運材作業等の素材生産 4件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ コベルコ建機株式会社</li> <li>➤ プラムシステム有限会社</li> <li>➤ 大久保歯車工業株式会社</li> <li>➤ コマツ</li> </ul>
④造林・保育作業 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社ロジク tron</li> <li>➤ 株式会社やまびこ</li> </ul>
⑧森林保護（獣害対策等） 1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 森庄銘木産業株式会社</li> </ul>
⑩クレジット・森林によるCO2吸収 1件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社woodinfo</li> </ul>

### 【募集内容 2（ピッチ登壇）への応募事業者】

①森林調査、伐採・造林計画 6件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社パスコ</li> <li>➤ BEAVER-WORKS</li> <li>➤ 株式会社woodinfo</li> <li>➤ 株式会社アドイン研究所</li> <li>➤ ヤマハ発動機株式会社</li> <li>➤ 株式会社スカイマティクス</li> </ul>
②境界確定 2件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社パスコ</li> <li>➤ かなめ測量株式会社</li> </ul>
③伐採・集材・運材作業等の素材生産 3件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 株式会社やまびこドローン</li> <li>➤ 松本システムエンジニアリング株式会社</li> <li>➤ 株式会社BREAKTHROUGH</li> </ul>
④造林・保育作業 5件	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 東洋エンジニア株式会社</li> <li>➤ 株式会社ギガソーラー</li> <li>➤ 矢崎総業株式会社</li> <li>➤ キャニコム</li> <li>➤ 筑波重工株式会社</li> </ul>

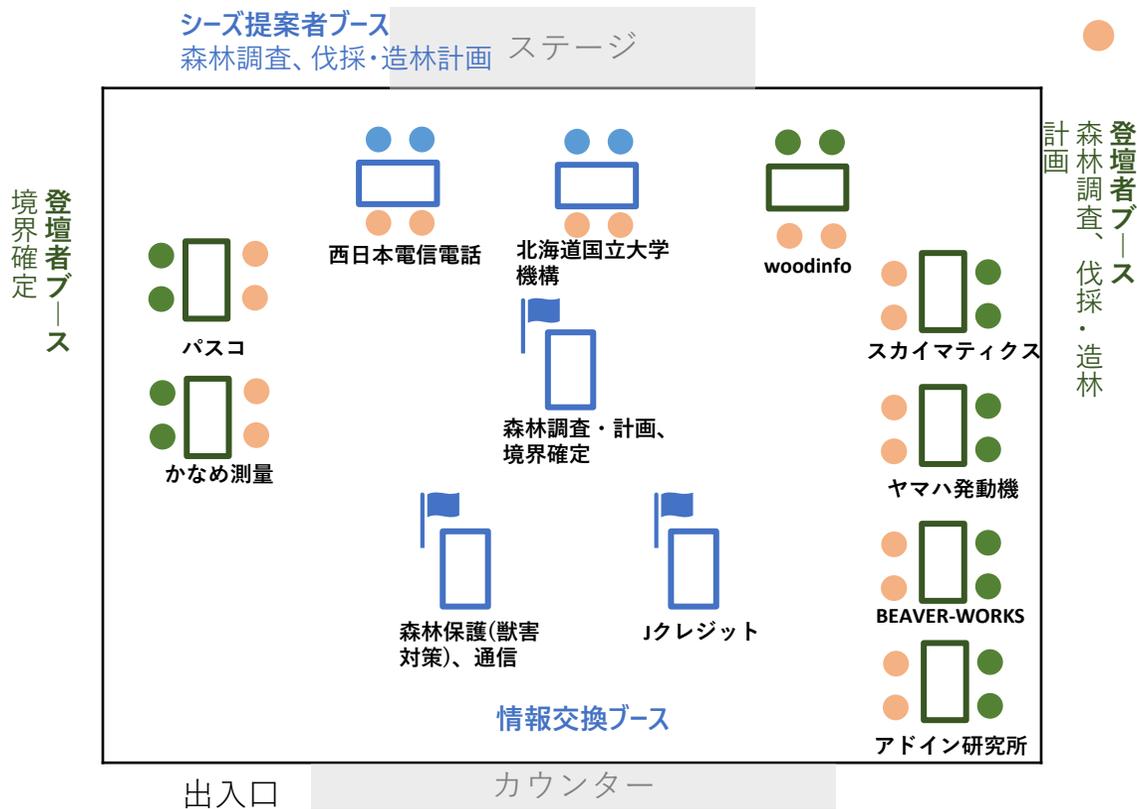
# 第2部個別相談会レイアウト (7階大ホール)



# 第2部個別相談会レイアウト (6階小ホール)

## 【凡例】

- : プレゼン登壇事業者
- : シーズ提案事業者
- : 参加者



※パスコは「森林調査、伐採・造林計画」への提案内容も含む  
Woodinfoは「境界確定」「Jクレジット・森林によるCO<sub>2</sub>吸収」への提案内容も含む

# シンポジウム当日は、林業・異分野を含め260人の方にご参加いただきました

## 当日の参加状況

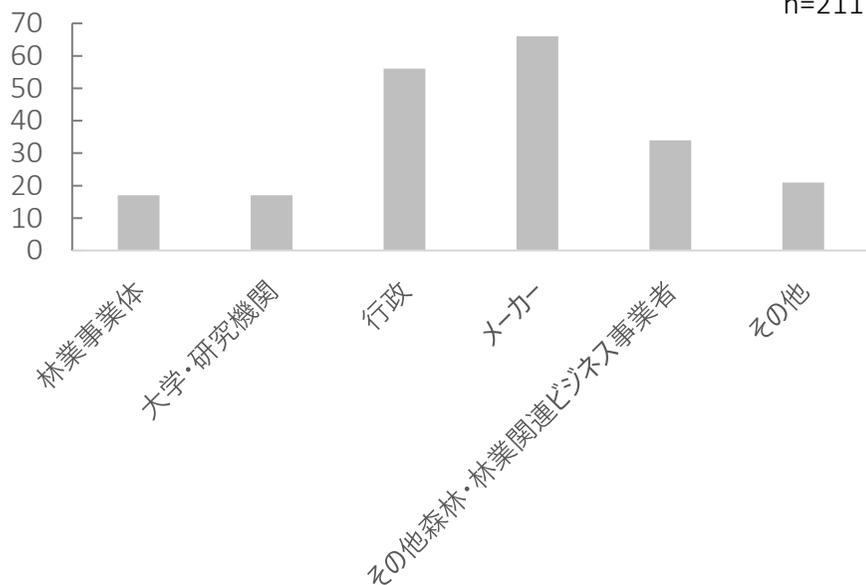
### ■ 参加状況



### 参加者の事業形態

参加者数（関係者・マスコミ除く）

n=211



### ■ 当日の様子 第1部



### 第2部

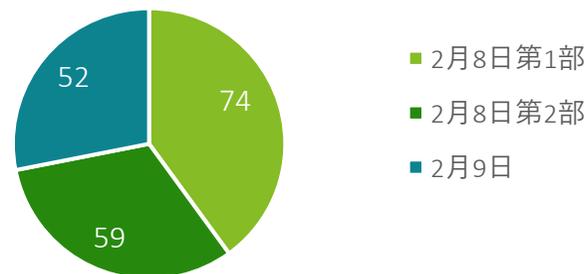


事後アンケートでは、2月8日プログラムの第1部について約9割の方、第2部について約7割の方が「有意義だった」「どちらかといえば有意義だった」と回答いただきました

## 事後アンケート結果

実施期間	2024年2月8日～2月20日
回答数	80件

### 参加したプログラム（複数回答）



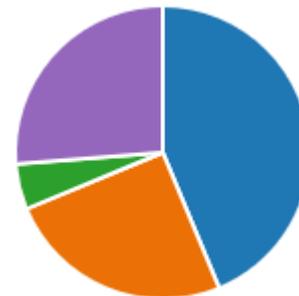
### 2月8日第1部の感想（単一回答）

● 有意義だった	45
● どちらかといえば有意義だった	26
● どちらかといえば有意義でなかった	3
● 有意義でなかった	0
● 参加していない	6



### 2月8日第2部の感想（単一回答）

● 有意義だった	35
● どちらかといえば有意義だった	20
● どちらかといえば有意義でなかった	4
● 有意義でなかった	0
● 参加していない	21



#### 【主なコメント内容】

- ✓ 林業の抱える課題と森ハブの取り組みを理解できた
- ✓ 各地域の取り組みや先進的な取り組みを知ることができ参考になった
- ✓ 目指すべき姿や、コーディネーターの重要性を認識することができた
- ✓ パネルディスカッションでは様々な話を聞いて興味深かった

#### 【主なコメント内容】

- ✓ 具体的なプレゼンと意見交換会は大変参考になった
- ✓ 様々な事業者の話を聞くことができ、最新情報を知ることができた
- ✓ 普段関わりのない事業者と情報交換することができた
- ✓ 個別相談の時間が少なかった
- ✓ 2会場に分かれており、興味あるプレゼンを全て聞くことができなかった